

附属小学校だより



北海道教育大学附属札幌小学校

副校長 紺野 高裕

昭和六十年卒

附属札幌小学校は、開校から百二十九年目となり、来年度は札幌同様一三〇周年を迎えます。早いものであいの里に移転してから二十七年経ち、教員の中で藻岩校舎経験者は私だけとなりました。

大学の法人化以来、附属学校は、その必要性や存在意義について厳しく問い直され、本校も例外ではありません。大学との共同研究推進や質の高い教員養成への積極的な参画はもとより、地域への効果的な発信やニーズを高めるとともに一層の貢献が求められています。このような中で本校では次のような取組を進めています。

第一に、地域の期待に応える取組です。教育研究大会を二日開催として三年目となり、この方式が定着しつつあります。多様化するニーズに応えるため、一人二授業の公開、体育館での提案授業、全国的に活躍する講師の招聘等により参加者は増えつつあります。想像力と創造力の育成を目指した研究主題、問題解決的な学習のユニバーサルデザイン化を掲げた授業づくりに関心を寄せていただき、本年はのべ二二〇〇名超の参加者を得ることができました。

研究大会の開催に当たっては北師同窓会から教育研究費としてお力添えをいただきました。また、多くの会員の皆様にご参加賜りましたことに、この場をお借りしまして、心よりお礼申し上げます。

二月には「冬季授業研究会」を実施しています。次年度研究大会に向けての中間発表として位置付け、研究の理論と授業実践について、広く参加者からご批評いただき、改善点を見出す場としています。この会にも約三〇〇名の参加者が来校くださいました。応援・激励いただいた北師同窓会の皆様に心より感謝しております。

第二には、大学との連携強化についてです。質の高い教員を養成するための学生の教育について、協力関係が年々充実してきています。教育実習以外の取組を列挙しますと◆教育実習で学んだことを生かした学生による授業づくりを大学の講義の一環として実践◆四年生の理科で大学教員と学生による天体望遠鏡による星空観察とプラネタリウム解説の実施◆ふじのめ学級で茨戸川の水を採取し水中微生物を観察、さらに顕微鏡で見える世界について出前授業の実施。

また、共同研究として◆五年宿泊学習における自然観察（学生が講師となり赤井川の動植物、岩石を観察し生態や構成についてレクチャー）◆五年総合的な学習の時間における稲作体験（代掻き・田植え・稲刈り・精米等について学生が指導体験）◆小学校英語の導入と中学校への接続について大学と一体となった研究（研究開発学校として）

さらに、大学教員の研修の場としても附属学校を活用する制度ができ、新任教員の他学校現場での経験のない現職教員が学校を訪れ授業参観・研究協議、出前授業を行うなどの取組も始まったところです。

このように、附属学校と大学（大学院）とのパイプが益々太くなってきており、教育活動の充実にも寄与しています。

今後も附属学校の使命と役割を果たし、教育と研究の進化を目指してまいります。皆様のご指導、ご支援をよろしく願っています。

附属中学校だより



北海道教育大学附属札幌中学校

副校長 三浦英悟

平成元年卒

平成二十七年度に附属札幌中学校副校長を拝命いたしました。私は平成十六年度から平成二十二年度まで七年間附属中学校に勤務をしております。四年ぶりに戻って来れ、大変嬉しく感じると同時に、諸先輩の方々の熱い想いや励ましに、身の引き締まる思いであります。今年度、本校は開校六十九年を迎えます。来年度は、七十周年の式典を予定しております。周年行事の準備を進める中で、今までの附属札幌中学校の歴史を改めて感じております。

本校の教育研究大会は、七月二十七日に開催いたしました。今年度は三か年計画の最終年次にあたり、求める生徒の姿を『「学びの主体者」となる生徒』と設定し、『「学びの主体者」となる生徒の育成』『「問い」を生かす授業の探究』を研究主題としての研究大会でした。札幌市内をはじめ、道内・全国各地から六百名を越える教育関係者の参加がありました。今年度は、研究の最終年次でしたので、文部科学省から教科調査官お二人をお招きし、教育講演をしていただきました。講演につきましては、これからの時代に求められる資質・能力と本校の研究についての講演をいただきました。第二期教育進行基本計画についての講演の中で、本校の研究の方向性について多くの賞賛をいただきましたこと嬉しく感じております。ま

た、参会者からも多くの賛同をいただいたと同時に、本校研究に寄せる期待の大きさを感じました。来年度からの新研究につきましても、変わらぬご協力とご助言をいただきたくお願い申し上げます。

さて、附属学校の使命の一つに教育実習があります。基礎実習（一年生）、主免実習（三年生）、副免実習（四年生）、学校課題俯瞰実習（教職大学院生）と多くの教育実習生を受け入れております。これからの教育を支える後輩を育てる意識をもち、今後も取り組んでまいります。

ここ数年、大学教員と附属学校教員が一緒に研究を進める教育連携が進んでおります。その一つとして、「英語教育プロジェクト」を進めています。これは、小学校と中学校、大学とが連携して、英語のコミュニケーション能力を育成するためのプログラムを作成し推進する取組です。夏に文部科学省から、中央教育審議会の教育課程部会の報告の中で、小学校での英語教育が、大きく変わる方向が示されました。「英語教育プロジェクト」の取組は、それを先取りしたものとなります。

今年度、八月に学校公開を行いました。参加人数は、六百人を超える児童・保護者が参加しました。ここ数年授業公開をしておりませんが、中学校を受験する生徒数が増えたこともあり、是非とも、生徒の姿を見て本校の受験を決めてほしいと考えて実施しました。参加した児童の真剣な姿から、本校への入学をしたい気持ちの強さを感じました。これからも授業づくりに邁進していきたいと決意を改めていたしました。

今後北海道教育大学の附属学校として、その存在意義を果たすべく努力していく所存です。ご指導ご鞭撻をお願いいたします。